

奥浅草
伝統
まつり



葛重ゆかりの地

江戸吉原

おいらん道中

花魁道中 伝承の極み

江戸吉原の地で
披露されていた「花魁道中」を
所縁の人の尽力で伝承。
伝統の花魁道中がここに極まる。

令和7年
2月23日(日)
雨天決行

場所:
隅田公園 山谷堀広場

隅田公園 山谷堀広場 / 台東区浅草7丁目1-22
<アクセス・最寄り>浅草駅東武線北口から徒歩約9分

・タイムスケジュール

- 9:40 オープニングアクト(浅草たいこばん)
- 10:00 記念式典
- 11:00 邦楽(望月太左衛社中)
- 11:45 狐舞ひ
- 12:00 東京浅草組合(芸妓、幫間)
- 13:00 おいらん道中
- 13:30 木遣り
御座敷芸
花魁 座敷の場
吉原囃子
- 14:45 おいらん道中

※写真はイメージです。

主催: 一葉桜開運振興会、吉原商店会、浅草ひさご通り商店街協同組合、
後援: 台東区

特別協力: 一般社団法人 奥浅草観光協会
協力: 馬道地区町会連合会、清川地区町会連合会、台東区大河ドラマ「べらぼう」活用推進協議会、
協同組合 浅草商店連合会、東京浅草組合
江戸吉原おいらん道中協力/江戸吉原伝統芸能の会、松竹衣装(株)、藤波小道具(株)、地丸企画、宮川かつら店

事務局: 03-5811-1929 (平日11:00~17:00)

※当イベントは、予告なく内容を変更する場合があります。あらかじめご了承ください。



奥浅草伝統まつりサイト
<https://okuasa-matsuri.com/>



「葛重三郎ゆかりの地 台東区」
マスコットキャラクター
つたいやん



隣接の山谷堀公園で開催中

山谷堀光回廊
1月25日(土)~2月24日(月・祝)
点灯時間 16:00~21:00



江戸吉原 おいらん道中

見所

おいらん道中

花魁が馴染み客のもとへ出向き、吉原の中を練り歩いたおいらん道中。シャン、シャンと金属の棒を鳴らしながら先導する金棒引きを先頭に、木遣りをうたいあげる女性たち、花魁の名入りの提灯、そして最高位の遊女であった花魁が、将来は花魁を期待される新造や禿をともなつて、道中を披露します。

優雅な所作や豪華な衣装など、吉原のおもかげをご堪能ください。



外八文字

木遣り



木遣りとはもとは木や石を運び出す際に息を合わせるための作業唄で、のちに火消しなどの職の人々によって発展、祝儀の際にうたわれるようになりました。吉原では女性に木遣りをうたうことが許され、道中の際にも披露したと伝えられています。

御座敷芸



吉原の座敷では芸者衆や幫間衆が様々な芸で客人をもてなしました。その中から、大鼓と小鼓を一人で演奏する吉原ならではの芸「二調鼓」、唄や三味線が華やかに場を彩る「さわぎ」などを披露します。

花魁 座敷の場



煙草盆の場面

花魁は客人をもてなすために楽器演奏や茶、書、和歌など教養を身に付け、位も高い存在でした。そのため、吉原では客人は一つつ手順をふまなければ馴染み客となることはできない仕組みでした。ここではついに客人が花魁と馴染みとなる場での、盃事などを描いた座敷の場をお届けします。

吉原囃子



約50年前、吉原最後の料亭・松葉屋の主人の声がかけて邦楽打楽器演奏家・西川啓光が、民俗芸能に江戸の粋を織り交ぜて作詞し、吉原ゆかりの人々が披露したお囃子がありました。時を経て吉原が注目されるいま、吉原囃子として姿を新たにしたい音色をお楽しみください。

イベント出演者

望月太左衛社中



和楽器の楽しさ、かっこよさをお伝えるユニット。今回、囃子組曲「江戸華音浮世絵」(太左衛構成)他にて参加。リーダー・望月太左衛は重要無形文化財・長唄(総合指定)保持者。



東京浅草組合

浅草花街の伝統を継ぐ芸者衆による粋で艶やかな踊りを披露する。



吉福社中

吉原には稲荷神社があり、遊女たちの信仰を集めるなど狐に縁があった土地。そんな吉原で大晦日に行われた門付け芸「狐舞ひ」を吉福社中が披露する。



浅草たいこばん

浅草を拠点に世界で活動する和太鼓奏者・小林太郎が率いる和太鼓チーム。氣迫溢れる演奏に気も引き締まる。

